

事業番号	07 04 02	事業改善シート(令和3年度実施事業分)		□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	創業・起業支援強化事業費	部局	産業労働部	課・室	経営・創業支援課	
		実施期間	H27 ~	E-mail	keieishien@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	①付加価値を高め、経済成長を実現					
総合的に展開する重点政策	2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成		2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保		5-2 女性が輝く社会づくり	

1 事業の概要

事業の現状・ 目指す姿 (予算編成時) 及び実施内容	【現状】	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度版雇用保険事業年報による県内開業率は3.1%であり、全国平均を下回っている(全国平均 4.25%)。 ・次世代産業創出のための創業支援拠点「信州スタートアップステーション」を松本市に設置したところ、延べ419件(R2年度実績)の創業に関する相談が寄せられた。
	【目指す姿】	創業機運の醸成や創業希望者の交流の場の創出、創業を支える環境の整備などにより、ベンチャー・エコシステムを構築し、開業率の向上及び新たな価値を創造する企業の輩出を目指す。
	【実施内容】	創業支援拠点施設の運営、スタートアップ企業への伴走型支援の実施、ソーシャル・ビジネスにより創業する者への助成など

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]									
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R3年度目標値	達成状況
1	信州スタートアップステーションでの相談対応件数	件		419	↑	516	↑	600	未達成
2	創業支援金を活用した創業件数	件	11	18	↑	22	↑	30	未達成
3	県内の創業関連保証等利用件数	件	1,266	970	↓	1,288	↑	1,000	達成

区分(単位:千円)		R1年度	R2年度	R3年度
事業コスト	前年度繰越額	0	0	0
	当初予算額	75,723	88,935	102,916
	補正予算額	-38,000	-22,000	-14,869
	合計(A)	37,723	66,935	88,047
	うち一般財源	19,764	33,553	44,839
	決算額(B)	31,798	55,189	76,281
職員数(人)		2.1	2.1	2.1

成果指標及び目標値の設定理由	<ol style="list-style-type: none"> 1.創業支援拠点の活用状況を調査するため、相談対応件数を成果目標に設定 2.創業支援金を活用した創業促進状況を把握するため、採択者のうち創業に至った件数を成果目標に設定 3.相談窓口を利用せずに創業した件数を把握するため、県信用保証協会の融資利用件数を成果目標に設定
達成状況の分析	<ol style="list-style-type: none"> 1.新型コロナウイルスの感染拡大により、相談受付をオンラインのみとした期間があったため、想定よりも相談件数が減った。 2.伴走支援員の申請サポート等により、採択件数は増えているものの、事業計画が未熟な案件も多く、目標件数(30件)に達しなかった。 3.創業者でも利用可能な新型コロナ関連資金の終了に伴い、創業者に限り利用可能な低利融資に利用が戻ってきたことにより、利用件数が増加した

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 信州スタートアップステーションの運営 ・次世代産業創出のための創業支援拠点「信州スタートアップステーション」を松本市及び長野市に設置 ・専門コーディネーターによる支援やプログラムの運営により、新たな価値を創造する創業を促進 ✓ 地域課題解決型の創業を支援(ソーシャル・ビジネス創業支援金) ・社会的事業で創業する者に対し、創業に係る経費を補助(上限200万円、補助率2分の1) ・申請者及び採択者に対し、一貫した伴走支援を実施 	  
		信州スタートアップステーション(左:松本、右:長野)

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<p>信州スタートアップステーションを松本市と長野市に設置したことにより、全県域における相談受付体制が整い、創業のすそ野が拡大された。</p> <p>今後は、これまでの相談受付体制に加えて、創業初期段階における金融支援施策の充実や、既存の経営資源を有効に活用した創業の促進を通して、創業しやすい環境づくりを進めていく必要がある。</p>	<p>県内経済を担う次世代産業を創出するために、信州スタートアップステーションに加えて、創業初期段階における金融支援を行うための官民連携ファンドを設立した。また、後継者不在事業者の経営資源を活用した創業を促進することで、県内事業者の優れた技術・ノウハウやネットワーク等の経営資源の喪失を防ぎつつ、効率的・効果的な事業立ち上げを支援する。</p>

事業名	創業・起業支援強化事業費	部局	産業労働部	課・室	経営・創業支援課
-----	--------------	----	-------	-----	----------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
1	スタートアップ支援事業	11,618 千円	22,755 千円	35,714 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	信州スタートアップステーション運営事業	委託	専門コーディネーターによる相談窓口(週5日稼働、1人常駐)を設置【県内2カ所(松本市及び長野市)】
2	創業応援プラットフォーム事業	直接	創業支援機関やワーキングスペース関係者等が連携促進や情報交換を行う場である創業応援プラットフォーム会議の開催 1回

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
2	地域課題解決型創業支援事業	20,180 千円	32,434 千円	40,567 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	地域課題解決型創業支援事業補助金(ソーシャル・ビジネス創業支援金)	補助金	地域の課題をビジネスの手法で解決するソーシャル・イノベーションによる創業を促進するため、創業に要する経費を補助するとともに、(公財)長野県産業振興機構に事務局を設置し、伴走支援を実施【採択件数26件】